

地方だより

本欄はJARLの各地方、各支部の行事案内やその結果などを掲載するページです。
次号「春号」の原稿締切りは2月20日です。支部大会案内やコンテスト結果、
そのほか各種催し物など重要事項はお早目に地方だより係まで送稿してください。

各地の行事予定

表中の●印はコンテストです。

1月

- 2日 ●秋田県 第29回VUオール秋田QSOパーティー
●十勝 JARL十勝支部QSOパーティー(～3日)
●胆振日高 第12回胆振日高ニューイヤー2mコンテスト(～3日)
- 4日 ●兵庫県 オール兵庫コンテスト
- 5日 ●熊本県 2020年オール熊本コンテスト
- 10日 石狩後志 札幌雪まつりPR記念局運用(～2月11日)
- 11日 ●愛媛県 新春グランドミーティング
●鹿児島県 桜島火山爆発総合防災訓練
●富山県 第43回富山県非常無線通信訓練コンテスト
- 12日 福岡県 賀詞交歓会
- 13日 ●埼玉県 第38回オール埼玉コンテスト
- 18日 大分県 新春アイボールパーティー/役員会・大分はむ寺子屋
- 宮崎県 新年アイボールQSO会
鹿児島県 新年アイボール会
- 宮城県 第41回オール宮城コンテスト(～19日)
支部懇親会
- 新潟県 第2回クラブ代表者会/新年会
- 19日 神奈川県 新年アイボールパーティー
奈良県 CW実技講習会
- 岡山県 電子工作教室 in ライフパーク倉敷
- 25日 長野県 新年会/第2回登録クラブ代表者会議
- 26日 静岡県 東静アマチュア無線フェア
●鳥取県 鳥取県OSO訓練コンテスト
十勝 アマチュア無線セミナー・新年アイボール会

2月

- 1日 ●京都府 第64回京都コンテスト(～2日)
●愛媛県 第46回愛媛マラソンコンテスト(～10日)
●富山県 富山マラソンコンテスト&パーティ(～11日)
- 2日 埼玉県 役員・監査指導員会議
三重県 技術講習会
- 7日 ●岩手県 第3回岩手県支部いわて雪まつりコンテスト(～11日)
- 8日 東京都 ニューイヤー交流セミナー
- 9日 東京都 支部大会
大阪府・兵庫県 関西HAMシンポジウム2020
佐賀県 支部大会
- 11日 ●関東地方 第37回関東UHFコンテスト

- 愛知県 第一級～第四級国試「無線工学」大質問会+アマチュア無線なんでも相談会
- 京都府 第34回初級CW QSO教室
- 15日 石狩後志 登録クラブ代表者会議(後期)
- 16日 千葉県 ちばハムの集い2020
山梨県 技術講習会
静岡県 西部HAMの祭典
和歌山県 支部大会・HAM集い
岡山県 技術講習会
徳島県 技術講習会
長崎県 HAMのセミナー(2)
富山県 支部登録クラブ代表者会議
- 23日 神奈川県 技術講習会
群馬県 技術講習会
●鳥根県 2019鳥根県OSO通信訓練コンテスト
沖縄県 支部大会(HAMの集い)
- 29日 ●広島県 第28回広島WASコンテスト(～3月1日)
愛媛県 中央運営委員会

3月

- 1日 ●徳島県 Awa3コンテスト(徳島マラソンコンテスト)(～10日)
- 宮城県 第29回アマチュア無線なんでも相談室
- 7日 神奈川県 支部役員・監査指導委員・クラブ代表者合同会議
- 8日 九州地方 第19回西日本HAMフェア(前夜祭7日)
オホーツク 第2回支部役員会議
渡島檜山 非常通信伝達訓練
- 14日 ●長野県 2020年ALL JA0 3.5MHz/7MHzコンテスト(～15日)
- 15日 埼玉県 支部大会
奈良県 支部大会・HAMの集い
愛媛県 支部合同会議
- 20日 ●東海地方 第60回東海QSOコンテスト
- 22日 東京都 初心者対象CW講習会
●中国地方 第1回オールJA4コンテスト
香川県 HAMフェスティバル in 香川
大分県 役員会・大分はむ寺子屋

4月

- 4日 ●神奈川県 第38回非常通信訓練コンテスト
●長崎県 2020年長崎県コンテスト(～5日)
- 5日 ●和歌山県 第32回和歌山コンテスト
- 11日 ●信越地方 第67回信越アマチュア局非常通信コンテスト(～12日)

1 エリア

関東地方

地方本部

第37回関東UHFコンテスト

日時 2月11日(火/祝) 09:00～15:00

参加資格 関東エリア内の個人アマチュア局(社団局を除く)・SWL ※関東エリア内を移動する他エリアのコールサインの局も含む

使用周波数 430/1200/2400/5600MHz帯, 10GHz帯
 ※JARL主催コンテスト使用周波数帯および総務省告示による使用区別を使用 ※電信電話ではD-STARのシンプレックスモード(レピータを使用しない)も使用可能

参加部門・種目・コードナンバー

参加部門	種目	コードナンバー	
シングルオペ	ヤング※	YM	
	電信	マルチバンド	AM
		430MHz	A430
		1200MHz	A1200
		2400MHz	A2400
		5600MHz	A5600
		10GHz	A10G
	電信電話	マルチバンド	BM
		430MHz	B430
		1200MHz	B1200
		2400MHz	B2400
		5600MHz	B5600
		10GHz	B10G
	SWL	C	

※各部門・種目ともシングルオペのみ ※ヤング部門は「電信」「電信電話」「シングルバンド」「マルチバンド」の区別はおこなわず令和2(2020)年4月1日現在の満年齢が18歳以下の者が参加できる ※「電信電話」は「電信および電話」または「電話」の交信 ※ヤング部

門以外のマルチバンドの参加は2波以上での交信をし、ログを提出 ※「SWL」は「電信」「電信電話」の区別をしない

呼出 ○電信「CQ KNT TEST」 ○電話「CQ カントウ コンテスト」

コンテストナンバー RS/T + JARL制定の市郡区ナンバー 例1) 相手局のRSが59で自局の運用場所が豊島区:59 100116 例2) 相手局のRSTが579で自局の運用場所が群馬県吾妻郡:57916001

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○レピータによる呼出・交信 ○呼出周波数における呼出・交信 ○マルチオペ、ゲストオペでの参加はできない

失格事項 ○重複交信が2%を超えて得点としている場合 ○書類に明らかな虚偽の記載が認められた場合

得点・マルチプライヤー ○アマチュア局:得点は完全な交信で得た交信を1点, マルチは各バンドで交信した異なる市郡区の数 ○SWL:得点は完全な受信を1点, マルチは各バンドで受信した異なる市郡区の数(完全な受信とは、受信局、受信局の交信相手のコールサイン、受信局の送信したコンテストナンバーをコピーすることとし、受信局の交信相手のコールサインはログの送信ナンバー欄に記載) ※同一バンド内における同一相手局との重複交(受)信は、電波型式、運用地点が異なっても得点またはマルチにならない ※自局が運用(受信)地点を移動することは差し支えない

総得点 ○マルチバンド種目:各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチの和 ○シングルバンド種目:当該バンドにおける得点×当該バンドで得たマルチ

提出書類 JARL制定のサマリーとログを、参加部門・種目を通じて1種目のみに提出 ※運用(受信)地点を移動した場合は移動した地点の市郡区の町村名までを必ず記入

地方だより記事の掲載について

- コンテスト規約の中で、電波法のように当然守らなければならない事柄のほか、掲載している規約の違反による失格事項などについては、省略しています。
- 各行事の開催報告などは編集の都合上、割愛させていただいている場合があります。あらかじめご了承ください。

JARL主催コンテスト使用周波数帯

●各地方コンテストの使用周波数帯の参考として、ご利用ください。

周波数帯	電信
3.5 MHz帯	3.510 ~ 3.530
7 MHz帯	7.010 ~ 7.040
14 MHz帯	14.050 ~ 14.080
21 MHz帯	21.050 ~ 21.080
28 MHz帯	28.050 ~ 28.080
50 MHz帯	50.250 ~ 50.300
144 MHz帯	144.050 ~ 144.090
430 MHz帯	430.050 ~ 430.090

周波数帯	電話
3.5 MHz帯	AM/SSB 3.535 ~ 3.570
7 MHz帯	AM/SSB 7.060 ~ 7.140
14 MHz帯	AM/SSB 14.250 ~ 14.300
21 MHz帯	AM/SSB 21.350 ~ 21.450
28 MHz帯	AM/SSB 28.600 ~ 28.850
50 MHz帯	FM 29.200 ~ 29.300
	AM/SSB 50.300 ~ 51.000
144 MHz帯	FM 51.000 ~ 52.000
	AM/SSB 144.250 ~ 144.500
430 MHz帯	FM 144.750 ~ 145.600
	AM/SSB 430.250 ~ 430.700
	FM 432.100 ~ 434.000

※1200 MHz帯以上の周波数帯については総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

注意事項 [紙ログ・サマリーについて] 紙によるログ・サマリーの提出は手書きのもののみを受付。紙によるログ・サマリーの提出の際には注意 ○ワード、エクセルなどを使い、紙にきれいにプリントアウトしたものは受付できない ○諸事情で紙に手書きでログを書くことしかできない方に対しては、受付けしますが、それ以外はすべて電子ログで提出。まだ電子ログでログ提出をされていない方は、電子ログ化の準備をお願いします

締切 3月11日(水) 消印有効(メールの場合は24:00必着)

提出先 ○〒175-0083 東京都板橋区徳丸6-8-23 新谷一徳 関東UHFコンテスト係 [メール受付] ○JARL制定の所定の様式で作成したもの(JARL電子ログ作成ツール、ハムログ、Elogmakerで作成したもの)メールの本文欄に貼付けて送信 ○メールの件名(主題・タイトル)は提出局のコールサイン 例)7K2GMJ ○移動して運用した局は、必ず/1と記載例)7K2GMJ/1 ○上記以外のメールは、受付けできませんので注意 ○受付済みの局は定期的に地方本部HPに掲載、受付の返信メールはしません ○メールの送信先 kanto-uhf@jarl.com

賞 各部門・種目のサマリー・ログ提出局には、その局数に応じて次の順位のJARL会員局に賞状ならびに副賞の楯を贈る 10局以下:1位のみ, 11局~20局:2位まで, 21局~30局:3位まで, 31局以上:5位まで ※入賞局の得点と同じ場合は同順位。ヤング部門は上記にかかわらず、参加局数が30局以下でも3位まで, 31局以上は5位までのJARL会員局に賞状、副賞の楯を贈る

結果発表 コンテスト結果は、JARL Web 地方本部HPに6月頃掲載予定

その他 前記以外のルールは、原則としてJARLコンテスト規約に準じる

問合せ先 不明点などはEメール 7k2gmj@jarl.com まで

東京都

ニューイヤー交流セミナー

当支部では、東京2020オリンピック・パラリンピックを記念して、「ハンディ無線機等で世界のハムと語ろう」をテーマに遠方の局と交信ができ、知り合い・友達を作り充実したハムライフを楽しむため、最新のテクノロジーを使った無線システム等についての交流セミナーを開催します。

参加者の交流の場となるよう交流親睦会・宿泊ミーティングも予定。東京都以外からの参加も大歓迎です。アンテナを上げられないがアマチュア無線でいろいろとやってみたい方などなたでも参加できます

日時 2月8日(土) 14:00~16:30 ○受付13:30~
○交流懇親会17:30頃~

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1

交通 ○JR中央線新宿駅乗換・小田急線各駅停車約3分参宮橋駅下車徒歩約7分 ○地下鉄千代田線・代々木公園駅下車4番出口から徒歩約10分 <http://nyc.niye.go.jp>

niye.go.jp ※施設用の地下駐車場(有料)利用可能台数200台あり

内容 ○D-STARリフレクター等最新の情報解説を予定
※D-STARモードの受信できるハンディ無線機等を持参 ○機器等展示も調整中 ○QSLカードのJARLビューローへの転送受付、お試し入会・新規・継続手続き等

申込方法 ①Eメールの件名に「東京都支部セミナー参加希望・コールサインまたは名前」を明記, ②住所, ③氏名, ④年齢, ⑤電話番号, ⑥Eメールアドレス, ⑦コールサイン(お持ちの方), ⑧宿泊希望・有無を記入 ※Eメールがない方は往復ハガキで申込

参加費 ○10,000円 セミナー&交流会・宿泊相部屋含む ○7,000円 セミナー&交流会・宿泊無 ※参加費用の送金等については、参加希望者へ返信で連絡します

定員 36名

締切 1月15日(水)までに準備の都合で、先着順・定員になり次第締切

申込先 ○〒197-0004 福生市南田園2-16福生団地12-801 JAIMUY 仙石康信事務局宛 ○Eメール: jalmuy@jarl.com

その他 ○筆記用具は各自必ず用意

令和元年度東京都支部大会

日時 2月9日(日) 13:30~16:30(受付13:10~)

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

交通 ○JR中央線新宿駅乗換・小田急線各駅停車約3分参宮橋駅下車徒歩約7分 ○地下鉄千代田線・代々木公園駅下車4番出口から徒歩約10分 <http://nyc.niye.go.jp> ※施設用の地下駐車場(有料)利用可能台数200台あり

参加費 無料

内容 ○来賓挨拶 ○R1年度支部事業(中間)報告・H30年度支部決算報告 ○R1年度支部決算(中間)報告・R2年度支部事業計画(案)説明・R2年度支部予算(案)説明等 ○特別講演予定 ○記念セミナー「ハンディ無線機等で世界のハムと語ろうWIRES」最新の情報解説を予定(C4FM・WIRESが受信できるハンディ無線機等を持参) ※機器等展示も調整中 ○お楽しみ福引抽選会・特賞無線機[JARL会員限定(JARL会員証必須・必ず持参)] ○QSLカードのJARLビューローへの転送受付 ○お試し入会・新規・継続手続き等

[会員親睦懇親会(事前申込)] 17:30から開催予定(会費:5,000円で調整中) ※詳細は支部HPで(<https://jarl-tokyo.org/wp2>)

問合せ先 支部長 澤田倉吉 JG1DKJ ☎070-5575-3386
Eメール: jg1dkj@jarl.com

初心者対象CW講習会

第3級アマチュア無線技士以上のライセンスをお持ちの方で、実践的な経験が少なく、とくにDXでのQSOに自信のない方達を対象に、初歩からのCW運用の講習会を開催します。JARL会員、支部等関係なく受講者を募集します。実践体験QSOに向けて受講され自信をつけ

てオンエアしてみませんか。

本講習会終了後も本参加者で希望者対象の継続講座を予定しています

日時 3月22日(日) 09:30~15:00(受付9:00~)

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1

交通 ○JR中央線新宿駅乗換・小田急線各駅停車約3分
参宮橋駅下車徒歩約7分 ○地下鉄千代田線・代々木公園駅下車4番出口徒歩約10分 <http://nyc.niye.go.jp> ※施設用の地下駐車場(有料)利用可能台数200台あり

内容 ○入門編:予備知識, 電信用略符号 ○実践編:送受信の実技, 送信速度, ラバースタンプQSO ※午後の実技編では, 初級, 中級の2段階別に分かれての送受信実技について講習

申込方法 ①住所, ②氏名, ③コールサイン記入, 往復ハガキにて

申込先 〒198-0043 青梅市千ヶ瀬町6-862 澤田倉吉あて

定員 40名程度 ※定員になり次第締切

参加費 1,000円(テキスト代として当日支払)

その他 ○筆記用具は各自必ず用意 ○ご自分の電鍵をお持ちの方は, 当日持参

問合せ先 支部長 澤田倉吉 JG1DKJ Eメール: jg1dkj@jarl.com ☎070-5575-3386

第2回ハムらde無線フェア

日時 4月19日(日) 10:00~16:00(展示は15:00頃まで)

場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

交通 JR青梅線羽村駅東口から徒歩約8分 ※施設周辺に有料駐車場あり

内容 誰でも参加可, ライセンスフリーやドローン空撮を希望する人達とハム(アマチュア無線)が一緒になって, 電波で遊びと学びの各ジャンル別セミナーや無線機器展示, クラブ紹介, アイボール情報交流会, 不用品・不要中古品交換ジャンク市, ニューカマーやビギナー相談コーナー, 地域の羽村市等紹介コーナー等含めた無線フェアを開催します。前日の4月18日は10mFM国際大会(29MHzFM全国大会)が開催され海外局も参加します。QSLカードのJARLビューローへの転送受付, お試し入会・新規・継続手続受付等 ※詳細は支部HPで

問合せ先 支部長 澤田倉吉 JG1DKJ Eメール: jg1dkj@jarl.com ☎070-5575-3386

Report 東京都総合防災訓練参加



2019年9月1日(日)令和元年度東京都・多摩市合同総合防災訓練が多摩市多摩センター駅(パルテノン大通り)周辺で実施され, 当支部防災対策委員とJARL登録クラブ「多摩無線クラブ(JH1ZMK)」のみなさまの協力で, アマチュア無線の紹介とクラブ局の公開運用がおこなわれました。当日はハムフェア2019の東京都支部有志ブースと防災訓練会場をVoIPシステムでつなぎ複数通信方法により情報伝達の通信をおこないました。交言いただいたみなさんありがとうございました。

Report 青少年のための科学の祭典・東京大会 in 小金井に参加



2019年9月22日に小金井市の学芸大学でおこなわれた「青少年のための科学の祭典東京大会」にJARL東京都支部も参加協力しました。

厚紙とストローとアルミ箔で作った地デジ用八木アンテナで, 「自分で作って実際にできあがったアンテナでTVを受信してみよう」という内容で工作体験コーナーを出展しました。

会場には, 立ち席が出るほど多くの方が来場され, 親子でこのテレビアンテナに興味を持っていました。

当コーナーは, 地元の高校生もボランティアで協力をいただき, 工作希望者が多くアンテナ工作材料が不足するほどでした。たくさんのご子どもたちが当コーナーを訪れて, 親子で電波について注目され, アマチュア無線の資料の配布などに関心を持たれたようです。工作されたアンテナ数は約100基でした。

Report アウトドアミーティング2019開催



2019年10月14日(月/祝)10:00~14:00頃まで東京都八王子市・片倉つどいの森公園にてアウトドアミーティングを開催しました。

当日は、朝から雨の天気となり急きょ地元自治会の町会館をお借りして、屋外にアンテナを立ててJA1YRL/1で公開運用の準備をし、集いをおこないました。ジャンク市には出展者も参加者も楽しませておりました。参加者は約100名で、抽選会には特賞に新品のV/UHF帯ハンディトランシーバーや特小ハンディトランシーバーのセット等が当たりました。2020年も開催予定です、自然環境にも恵まれた八王子市でのアイボールQSOに次回もご参加ください。

協力 東京アマチュア無線ネットワーク 連絡先：事務局 JK1XRT 武井幸雄 〒192-0914 八王子市片倉町521-9 Eメール jk1xrt@jarl.com

Report アウトドアフェスティバル2019へ参加



2019年11月9日(土)・10日(日)立川市・昭島市にある国営昭和記念公園が主催するアウトドアフェスティバル2019へ「災害に強いアマチュア無線」と題して当支部も出展しました。当日は天候にも恵まれ、お子様でも楽しめるよう特小無線機等での無線体験やJA1YRL/1局の公開運用をしました。アウトドア・防災・スポーツといろいろな団体や会社の出展があり、たくさんの来場者がこのイベントをご家族で楽しめました。

2日目は支部オリジナルの「厚紙とアルミホイルで作る地デジ受信アンテナ」で、会場に設置したTVで『祝賀御列の儀』の受像を見て、来場者は「え?こんなのでこんなにきれいに観られるの?」とびっくりしておりました。

立川市アマチュア無線クラブ、東京アマチュア無線ネットワーク、地域の会員の皆様にお手伝いいただきました。ありがとうございました。

神奈川県

新年アイボールパーティー

毎年恒例になりました新年アイボールパーティーを下記の通り開催します。神奈川県内の皆様との賀詞交歓会との一面もありますが、これまで参加されたことのない方の参加を歓迎します。アマチュア無線を楽しんでいる方と、新春のひとときを楽しく過ごしてみませんか。ハンディ機等が当たるお楽しみ抽選会などのプログラムをたくさん用意して、皆様のご来場をお待ちしています

日時 1月19日(日) 11:00~13:30

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)9階レストラン「味采」 [http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.](http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/)

[or.jp/~l-plaza/](http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/) 〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎ 045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数です。できるだけ、電車・バスを利用ください

参加費 1人3,500円 ※未就学児は無料 ※会場準備の都合上、参加希望の方はコールサイン、氏名、電話を明記のうえ、以下の口座へ、1月10日(金)(厳守)までに参加費を振込んでください ※料理手配の関係のため、当日の参加受付はしません。当日参加されない場合でも参加費は返金しません ※当日は、オークションをおこないますのでご協力いただける方は持参ください ※会場ではお酒が提供されますので、飲酒される方はお車の運転を遠慮ください ○振込先[郵便振替]JARL神奈川県支部 口座番号00290-1-83664 [ネットバンキング等他銀行] ゆうちょ銀行 029(ゼロニキュウ)店 当座預金口座0083664 ※ゆうちょ銀行の当座預金口座に送金の方は、カナ氏名しか分かりませんので、別途メールで森野富士彦 jf1nef@jarl.com 宛に、コールサイン、漢字氏名、送金日、送金金額などを連絡

問合せ先 加藤寛治(7M1MBO) Eメール: 7mlmbo@jarl.com

支部HP <http://www.jarlkn.info/> 参照

技術講習会「CW QSO実践講座」

日時 2月23日(日) 10:00~16:00

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)1階オープンスペース <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/> 〒252-0303 神奈川県横浜市中区寿町1-4 ☎ 045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数です。できるだけ、電車・バスを利用ください。詳細は、支部HPで案内

内容 CWでうまく交信ができれば、やりたいけど自信がないなど、いままで、CWの免許を持っているにもかかわらず、実際に交信をやったことのない方の講習会です。3アマ以上の方が対象。講師は、CWで数々の賞を獲得したベテランHAMをお招きして、CW交信の実践テクニックを教えます。例年本講習会を卒業した有志で構成される、CHC(CWひよこクラブ)の支援で、ほぼマンツーマンの講習会をしていますが、速度は別として最低限、欧文と数字を覚えれば、効果的に受講できます。ぜひチャレンジしてください

募集人数 30名(先着順) ※定員になり次第締切。例年人気の講習会で、早目の申込みをお勧め

参加費 ○会員:1,000円 ○非会員:1,500円(昼食代、テキスト代) ※会員の方は会員と証明できるもの(会員証など)をお持ちください

申込方法 【往復ハガキ】CW交信講習会受講希望、住所、氏名、コールサイン、年齢、電話番号、従免資格、電鍵持参の有無を明記して次の住所まで ※折り返し受講票を送付 〒225-0005 横浜市青葉区荻田2-6-6 森野富士彦(JFINEF) 【電子メール】郵送申込みと同じ内容を、電子メールで jf1nef@jarl.com まで ※返信で参加証等を送付

締切 2月7日(金)、定員(30名)になり次第締切 ※電鍵は必要数を支部で用意しますが、ご自分の電鍵をお

持ちの方は、当日持参ください。エレキー等の電源も準備しています

支部役員・監査指導委員・ クラブ代表者合同会議

日時 3月7日(土)〇9:30~11:30 支部役員・監査指導委員会
〇12:00~15:30 支部役員・監査指導委員・クラブ代表者合同会議

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ) <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~1-plaza/>
〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数です。できるだけ電車・バスを利用ください

案内 登録クラブの連絡者に対しては、別途詳細な案内を郵送

第38回非常通信訓練コンテスト

※今年もログ提出局の中から、抽選で5局に副賞として、防災関連グッズが当たります

日時・使用周波数 〇4月4日(土) 〇18:00~19:59(JST):3.5/7MHz帯 〇20:00~21:59(JST):50/144MHz帯 〇22:00~23:59(JST):430/1200MHz帯 ※各バンドとも運用は、電話(AM,SSB,FM)のみとし、各バンドにおける使用周波数帯はJARL主催コンテスト使用周波数帯の指定、1200MHzバンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区分」による ※各バンドの呼出周波数・デジタル呼出周波数、非常通信周波数は使用しない

参加資格 シングルオペレーターで運用する日本国内のアマチュア無線局(個人局・社団局・ゲストオペ)

通信相手局 〇神奈川県内で運用する局(県内局):全ての国内局 〇神奈川県外で運用する局(県外局):神奈川県内で運用する局(県内局)

呼出 〇県内局 電話「CQ 神奈川訓練」 〇県外局 電話「CQ 神奈川訓練 こちらは県外局」

コンテストナンバー 〇県内局:RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所の郵便番号(7桁) 〇県外局:RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す市郡区ナンバー ※神奈川県内の各運用場所を示す郵便番号は、日本郵便株式会社 郵便番号検索サイト(<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>)などを参照 ※市郡区ナンバーは、JARLコンテストで使用する市郡区番号表に準じる

参加部門・種目・コードナンバー

部門種目	コードナンバー	
	県内局	県外局
オールバンド 注2	KA	XA
HF-Low (3.5/7MHz) バンド 注1, 2	KHL	XHL
VHF (50/144MHz) バンド 注1, 2	KV	XV
UHF (430/1200MHz) バンド 注1, 2	KU	XU
3.5MHz バンド	K35	X35
7MHz バンド	K7	X7
50MHz バンド	K50	X50
144MHz バンド	K144	X144
430MHz バンド	K430	X430
1200MHz バンド	K1200	X1200

注1) HF-Low (3.5/7MHz) バンド, VHF (50/144MHz) バンド, UHF (430/1200MHz) バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる2つの周波数帯を使用した場合にのみエントリーできる 注2) オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合で、注1) 以外の場合にのみエントリーできる

得点 〇コンテストナンバー交換が完全にされた交信を1点 ※県外局同士の交信は無効(0点)とし、同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波型式が異なっていた場合であっても、1交信のみを得点とし、それ以外は0点

マルチプライヤー 〇県内局:相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁), 神奈川県以外の異なる市郡区 〇県外局:相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁)

総得点 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤー数の和

禁止事項 〇クロスバンド, クロスモード, レピータによる交信 〇コンテスト開催時間中における運用場所の変更(コンテストナンバーが変わらなくても不可) 〇同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 〇同一オペレーターによる複数局の運用(同一免許人が有する複数のコールサインなど) 〇マルチオペレーター運用(社団局, ゲストオペレーターなどによる複数人での運用)

書類提出 〇JARL制定のサマリーシート, ログシート(または同形式のもの)を使用 〇電子メール:JARL主催コンテストにおける所定の様式(JARL推奨旧フォーマットR1.0)で作成したサマリー, ログシート(テキストデータ)をメール本文に貼り付けて、提出先メールアドレスに送信 〇紙ログ:手書きのもののみを受付 〇いずれか1つの部門種目のみに書類を提出 ※審査の対象とすることを希望しないバンドについては、チェックログとして提出 ※チェックログ扱いを希望するバンドの交信については、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシートの意見欄等に希望するチェックログとするバンドを明記 〇常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所を書類に明記(県内局は運用場所を示す郵便番号の地名まで、県外局は市郡区まで) 〇交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送する場合は、重複する交信、マルチプライヤーの確認書類(チェックリスト)を添付(様式は問いません)

締切 〇電子メール:4月18日(土)必着 〇紙ログ郵送:4月16日(木)消印有効

提出先 〇電子メール:hijou-test@jarlkn.sakura.ne.jp 送信件(Subject)名:エントリーするコールサイン(例:JN1DNV/1) 〇紙ログ:〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北3-7-305 山岸純(JN1DNV)宛(封筒には、「非常通信訓練コンテストログ在中」と朱書き)

賞 〇全ての部門種目ごとに、参加局数が10局以下:1位, 11局から20局以下:2位まで, 21局以上:3位までの順位の局を神奈川県支部ハムの集いで表彰し、賞状を贈る 〇ハムの集いに出席されなかった表彰対象局には、集い終了後に賞状を郵送 〇ログ提出局の中から、抽選で5局へ副賞として、防災関連グッズを贈る

失格事項 ○本規約に定める事項に違反した場合 ○その他JARL主催コンテスト規約に準じる失格事項

結果発表 支部HP (<http://www.jarlkn.info/>), JARL NEWSなどで公表 ○電子メールによる書類提出者には、電子メールで結果表をお知らせ ○返信先を明記して94円切手を貼った封筒(SASE)を同封した郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信
その他 本規約に明記なき事項についてはJARL主催コンテスト規約に準じるものとする

問合せ ○本規約の問合せは、書類提出先まで封書(返信先を明記して切手を貼った封筒(SASE)を同封)もしくは、問合せ先メールアドレス(jarlkncontest+request@gmail.com)まで

Report 「ニューオペレーターズ・セミナー」終わる



2019年10月19日(土)、神奈川県公文書館中会議室(横浜市旭区)で「ニューオペレーターズ・セミナー」が開催され7名の方々が受講されました。今回の特徴は、受講者が少なかったものの、従事者免許は取得したもの一度もQSOをしたことがない方や数十年ぶりにカムバックされた方が多く、初心者向けの用語の解説から専門的な知識(電波、アンテナなど)やハムの楽しみ方(コンテスト、アワードなど)、運用マナーとテクニックなどを先輩ハムのみなさんが体験談を交えた解説があったほか、あらかじめいただいた質問事項についても詳細な解説をおこない、受講者の皆様は非常に興味を持って受講されていました。また、監査指導委員による電波適正利用についての講義や、さらには受講者と支部役員による交信(未開局の方は特小を使用した通信訓練)もおこなわれ、初めて電波を出した方は手に汗を握りながら挑戦、QSOの楽しみを実感する等、内容も充実していました。受講者の皆様には、東京都、神奈川県内から参加いただき、熱心に講師に質問されている方も多く、いつもに増して参加者の熱意が多く感じられる講習会となりました。

ハム人口が減少していると言われていた昨今、貴重な時間を費やして受講していただいた方々が、本セミナーを契機に、より充実したハムライフを楽しまれることと思います。

Report 「かながわハムの集い2019」終わる



2019年11月10日(日)、相模原市立産業会館(相模原市中央区)において、「かながわハムの集い2019」が、相模原市市長本村賢太郎氏、JARL会長高尾義則氏(JGIKTC)、JARL関東地方本部長島田守康氏(JHILWP)、JARL顧問有坂芳雄氏(JAIHQG)ほか多数のご来賓をお迎えして、県内のアマチュア無線クラブのご支援をいただいて開催されました。今回のハムの集いでも会場の制約から金銭の授受を伴うジャンク市等の開催は見送られましたが、神奈川県内の登録クラブによるクラブ展示、個人局展示、メーカー展示、総務省電子申請コーナー、支部相談コーナーが開設されたほか、JARL、アマチュア無線の「ハム・ランド」様の後援をいただき、会場内には県内外から254名の来場者をお迎えすることができました。

支部役員である高崎氏(JAIGQC)の司会のもと、森野支部長(JF1NEF)の挨拶で幕を開け、来賓の方々からご祝辞を賜りました。

その後も、支部事業報告、会計報告、監査指導報告、神奈川非常通信コンテスト、オール神奈川コンテスト、オール神奈川フォトコンテストの表彰、記念撮影がおこなわれて午前中の行事が終了しました。また、今年もオール神奈川コンテストの表彰では、若い世代の方の入賞が継続しており、今後の活躍が期待される状況でした。これまで見直しをおこなってきたコンテスト規約改正の効果が感じられるとともにエントリーされる方も増加したことが、今村コンテスト委員長から報告されました。

午後には、JR10FP鈴木則雄OMによる「D-Starを使った新しいQSO方法」と題した講演が実施され、最近注目されているリフレクターを使用した通信方法等について講演をいただきました。その後、会場をお借りした相模原市の本村賢太郎市長にお越しいただき、御祝辞を賜りました。相模原市は、先の台風で土砂災害など甚大な被害を受け、いまだ行方不明の方もいらっしゃる状況の中、スケジュール調整をしていただき、かながわハムの集いに駆け付けていただきました。市長のアマチュア無線をご理解いただいたお言葉に参加者一同感銘するとともに、被災者の皆様に哀悼とお見舞いの意を表しますとともに、1日も早い復興を心から願う一幕でした。

講演の最後は、JARL会長高尾義則氏(JGIKTC)による、「JARLの現状と取組み並びに将来展望」と題した講演が実施されました。

そして、当日会場でエントリーをいただいた、47枚のQSLカードによる、「QSLカードコンテスト」の表彰式をおこないました。

ハムの集いの最後は、神奈川県支部恒例の無線機が当たる抽選会で各社から景品の提供をいただき、大いに盛りあげられました。

今年も多くの方々のご協力が無事にハムの集いを終了することができました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

千葉県

ちばハムの集い2020

JARL会員の方はもちろん、これからアマチュア無線を始めたい方など、どなたでも楽しく参加できます。アイボールQSOで無線技術情報、ロケーションの良い移動運用場所などハムライフに活用いただければ幸いです。

す。各局においてはお忙しい中、都合調整のほど、ご家族、ご友人、ご隣人をお誘いあわせのうえ、ご来場ください。多くの皆様の参加をお待ちしております

日時 2月16日(日) 10:00~16:00 (9:30受付開始)
会場 千葉県四街道市文化センター 四街道市大日396
<http://yotsu-foundation.or.jp/bunka/>

交通 ○JR成田線・総武本線四街道駅北口下車徒歩15分
○千葉内陸バス「千代田団地」行き乗車市役所前下車徒歩3分
○ちばグリーンバス「京成佐倉駅」行き乗車または、「田町車庫」行き乗車市役所前下車徒歩3分
○駐車場:201台(うち4台身体障害者用)
※市立図書館と共用、無料 8:30から21:00まで隣接する市役所駐車場も利用できます

内容 ○講演(詳細が決まり次第支部HPで発表) ○不要品交換コーナー(ジャンク、リサイクル) ○電子申請普及促進活動 ○展示・紹介コーナー ○QSLカード転送受付 ○8N1CBHAM公開運用 ○千葉県登録クラブブース ○アマチュア無線を始めた方への相談コーナー ○支部事業報告・事業計画 ○非常通信訓練報告 ○第34回オール千葉コンテスト表彰式 ○お楽しみ抽選会(条件付き景品についてはJARL会員証の提示が必要) ○記念撮影 ○その他

出展者募集 不要品交換コーナー(出展費用500円) ※多い場合先着順。希望の方は連絡者氏名、住所、電話番号、Eメールを明記し1月31日(金)までに下記Eメールまで。件名には不要品交換と明記

問合せ 岡本 武 Eメール tsudoi@jarl-chiba.info ※支部HP <http://www.jarl-chiba.info/>

埼玉県

第38回オール埼玉コンテスト

日時 1月13日(月/祝) 09:00~15:00 (JST)
参加資格 日本国内(陸上)のアマチュア局, SWL(アマチュア局の電波を受信する個人をいう)

使用周波数帯 ○3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz帯: JARL主催コンテスト使用周波数帯 ○1200MHz帯: 総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」による 注1) A2A電波による電波はAM/SSB, F2A電波による電波はFMの使用周波数帯 注2) 51.000MHzは, FMの使用周波数帯

参加部門 ○県内電信電話の部: 埼玉県内で運用 ○県外電信電話の部: 埼玉県外で運用

種目・コードナンバー(別表)

※1: HFバンドは, 3.5/7/14/21/28MHz帯を使用 ※2: V/UHFバンドは, 50/144/430/1200MHz帯を使用

通信相手局 ○県内局: 埼玉県を含む全国内局 ○県外局: 埼玉県内局に限る

呼出 [電話] ○県内局「CQ埼玉コンテスト」 ○県外局「CQ埼玉コンテスト(こちらは県外局)」 [電信] ○県内局「CQ ST TEST」 ○県外局「CQ STX TEST」

コンテストナンバー ○県内局: RS(T)+市区町村ナンバー 例) 比企郡ときがわ町: 59 130089 ○県外局: RS(T)+都府県地域等のナンバー

通信上の禁止事項等 ○クロスバンドによる通信 ○コンテスト中の運用場所の変更 ○シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発

(別表) 種目・コードナンバー

種目	コードナンバー		
	県内	県外	
シングルオペ	オールバンド	S-SA	X-SA
	3.5MHzバンド	S-S35	X-S35
	7MHzバンド	S-S7	X-S7
	14MHzバンド	S-S14	X-S14
	21MHzバンド	S-S21	X-S21
	28MHzバンド	S-S28	X-S28
	50MHzバンド	S-S50	X-S50
	144MHzバンド	S-S144	X-S144
	430MHzバンド	S-S430	X-S430
	1200MHzバンド	S-S1200	X-S1200
	HFバンド(※1)	S-SHF	X-SHF
マルチオペ	V/UHFバンド(※2)	S-SVU	X-SVU
	SWL	S-SWL	X-SWL
	オールバンド	S-MA	X-MA

射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○レピータによる交信 ○コールサインもしくはマルチプライヤーを受信信号の周波数情報とともにオペレーターに知らせるあらゆる技術, たとえばWebクラスター, CWスキマー, リバースビーコンネットワークの使用を認める ○自局の運用情報をWebクラスターにアップロードするセルフスポッティングやスポットを依頼する行為 ○リモート運用は, すべてのアンテナ, 送信機, 受信機がひとつの所在地に収まっている場合のみ許される。すべてのリモート運用局は, 局免許, オペレーター免許, 該当参加部門のルールに従うこと ○送信機, 受信機, アンテナを設置した無線局の所在地外に位置するリモート受信機の使用 ○コンテスト終了後に, データベースや録音, 電子メールまたはその他の手段を使って通信ログを作ったりあるいは交信を確認したり, コールサインやナンバーを修正すること ※手書きログを電子ログ化する作業は, これに含まれない ○一つのコールサインで複数の部門・種目にログを出すこと ○一人のオペレーターが複数の異なるコールサインで運用し, それぞれのコールサインでログを提出すること

得点 [アマチュア局] コンテストナンバー交換が完全にされた交信を得点, モードによりそれぞれ ○電信-電信: 2点 電話-電話(電信): 1点 ※次の場合は得点とならない ・県外局どうしの交信 ・同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信) ※同一バンドではモードが異なっても任意の1交信のみ有効 [SWL] 送信, 受信局の識別信号(呼出符号, コールサイン)ならびに送信局のコンテストナンバーの完全な受信を1点 ※次の場合は得点とならない ・県外局どうしの交信の受信 ・県外のSWLが県外局の送信を受信した場合 ・同一バンドにおける重複交信(同一局を2回以上受信) ※同一バンドではモードが異なっても1受信のみ有効

マルチプライヤー [アマチュア局] ○県内局: 完全な交信をした異なる都府県地域等の数, 埼玉県内の市区町村数 ○県外局: 完全な交信をした異なる埼玉県内の市区町村数 [SWL] ○県内: 完全な受信をした送信局の異なる都府県地域等の数, 埼玉県内の市区町村数 ○県外: 完全な受信をした送信局の異なる埼玉県内の市区町村数

総得点 ○シングルバンド：当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチプレイヤーの和 ○マルチバンド：各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプレイヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシート（または同形式のもの）を使用。Eメールによる提出も受付 ○サマリーシートのコンテストの名称、参加部門および種目などの欄は次のように記入 ・コンテストの名称：オール埼玉コンテスト ・参加部門および種目など コードナンバー欄：コードナンバーを記入 名称欄：県内・県外の別、参加した種目 ○書類の提出は1種目のみ ○入賞対象局については、交信（受信）時に記入したログの提出を求められることがある

提出締切日 1月27日（月）消印有効

書類提出先 ○郵送：〒341-0021 埼玉県三郷市さつき平1-4-102 高橋 取 埼玉コンテスト係 ○Eメール：jarl.saitama@gmail.com ※Eメールでの提出は、JARL制定の電子ログ形式に限る

電子ログによる受付 ○電子ログ形式はJARL制定の形式のみ受付 ○サマリーの形式は、バージョンR1.0またはR2.0のどちらでも可能 ※それ以外の形式は一切受け付けません。詳細は、http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htmを参照 ※ロギングソフトのご質問は、お答えいたしかねます

[審査を迅速におこなえるようにご協力をお願いします] ○コンテスト用ロギングソフトを使用される方は必ず最新版に更新したうえで使用。現在の電子ログ形式に合わない方がおりますが、失格などのペナルティとなる場合があるので注意 ○メールのサブジェクト（件名）は、コールサイン（移動等は/○まで）のみを記入 例）JA1YRL/1 ○メール本文は、誤判定防止のため電子ログ（サマリー含む）の記述のみとし、電子ログを添付ファイルとして送る方は本文を必ず白紙とする ※署名も付けない ○送受信のコンテストナンバーが正確に記入されていない、参加部門のコードナンバーに誤りがあるなどのミスが目立つので、送信前に再度確認をお願いします

携帯電話用URL 昨今の携帯電話の事情から携帯電話サイトの掲載を廃止

個人情報の利用について JARL埼玉県支部は、個人情報取得した際の利用目的の範囲内でJARL埼玉県支部の実施するコンテスト業務遂行（集計・審査・表彰）のために利用します

受付状況 <http://www.jarl.com/allst/> に掲載

賞 参加局数に応じて、次の順位のJARL会員局に賞状 ・参加局が10局以下：1位のみ ・参加局が11局以上20局以下：2位まで ・参加局が21局以上30局以下：3位まで ・参加局が31局以上：5位まで ○書類提出した希望する局には参加証明証を送る ・書類提出先に定型封筒（はがきサイズの用紙が入る大きさに限る）に、84円切手を貼り付け、送付先の住所、名前、コールサインを予め記載して郵送 ・参加証明証の受付は、2020年8月31日（消印有効）

失格事項等 次の場合は失格 ○ログシートに記載されている交信または受信局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合 ○この規約に定める事項に違反した場合

その他 ○JARLコンテスト規約に準じる ○JARLが開設する局（特別記念局や特別局など）は、チェックログ ※JARL以外が開設する記念局などは、一般の局と同様に扱う

結果発表 支部のWEBで公開（予定）入賞者については、JARL NEWS 2020年夏号にも掲載

問合せ先 不明な点は電子メールにて jarl.saitama@gmail.com

【市区町村ナンバー】 [市区] 川越市1302 熊谷市1303 川口市1304 行田市1306 秩父市1307 所沢市1308 飯能市1309 加須市1310 本庄市1311 東松山市1312 春日部市1314 狭山市1315 羽生市1316 鴻巣市1317 深谷市1318 上尾市1319 草加市1321 越谷市1322 蕨市1323 戸田市1324 入間市1325 朝霞市1327 志木市1328 和光市1329 新座市1330 桶川市1331 久喜市1332 北本市1333 八潮市1334 富士見市1336 三郷市1337 蓮田市1338 坂戸市1339 幸手市1340 鶴ヶ島市1341 日高市1342 吉川市1343 <さいたま市> 西区134401 北区134402 大宮区134403 見沼区134404 中央区134405 桜区134406 浦和区134407 南区134408 緑区134409 岩槻区134410 ふじみ野市1345 白岡市1346 [町村] ○入間郡 越生町130012 三芳町130014 毛呂山町130015 ○大里郡 寄居町130026 ○北足立郡 伊奈町130031 ○北葛飾郡 杉戸町130043 松伏町130044 ○児玉郡 上里町130062 美里町130063 神川町130064 ○秩父郡 小鹿野町130072 長瀨町130073 東秩父村130074 横瀬町130075 皆野町130079 ○比企郡 小川町130081 川島町130082 滑川町130084 鳩山町130085 吉見町130086 嵐山町130087 ときがわ町130089 ○南埼玉郡 宮代町130093

役員・監査指導員会議

開催日 2月2日（日）

場所、時間は決まり次第事務局より連絡します

支部大会

開催日 3月15日（日）

場所 未定

※詳細は、支部HPに決まり次第UPします

Report 青少年のための科学の祭典所沢大会出展



2019年11月4日(月/祝), 所沢市航空発祥記念館で開催された「科学の祭典所沢大会」に出展し, 野老実験クラブと協同して小学生以下の子供達に将来の無線家に育ってもらおうように思いを込めて体験をして貰いました。

内容は, モールス体験・特小での交信体験・電波に係わるクイズ・公開運用です。

群馬県

技術講習会

「144MHz 1/2λ電圧給電 ホイップアンテナの製作」

日時 2月23日(日) 13:30~16:00(予定)

場所 前橋市桂萱公民館 2階 造形創作室 群馬県前

橋市上泉町141-3 ☎027-261-0111

会費 1,000円(当日徴収)

内容 144MHz 1/2λ電圧給電ホイップアンテナを製作しこのアンテナの基礎と応用などを説明

受講者が用意する工具類 M3用ドライバー(No.2), ラジオペンチ, ニッパー, ピンセット, はんだこて(拡大鏡, M3用スパナ(5.5mm)があれば便利) お持ちの方は, 測定用にアンテナアナライザ(144MHz対応)またはハンディトランシーバ(144MHz)と対応するSWR計

定員 先着30名

申込 ○Eメール: タイトル「技術講習会参加」, コールサイン, 氏名, 住所, 電話番号を記入し ja1svp@jarl.comへ ○郵便: 往復はがきで, 〒371-0852 群馬県前橋市総社町総社1355-3 相羽不二雄あて(2日以内に返信・投函しますので届かない場合は連絡ください)

その他 製作の概要は, JH1NDM HP <http://www7.plala.or.jp/jh1ndm/> アマチュア無線ページをご覧ください

締切 1月31日(金)

山梨県

技術講習会

日時 2月16日(日) ○10:30支部役員/クラブ代表者会議/監査指導委員会 ○12:00受付開始 ○13:00技術講習会開会 ○16:00終了予定

場所 甲府市健康の杜センター「アネシス」甲府市下向山町910番地 ☎055-266-6400

○中央道甲府南インターより国道358号線を精進湖方面へ約5分, 三叉路を曽根丘陵公園方面へ右折, 公園手前の左側 ※2019ハムの集いと同じ場所 ※上履きを持参

内容 詳細は1月下旬に支部HPでお知らせ

参加資格 どなたでも参加できます

その他 ○催事限定入会金免除・青少年お試し入会キャンペーン: 22歳未満の方は入会金, 会費(1年分)とも申請により免除 ○一般の方も入会金が免除, お知り合いの方で興味のある方がいたら入会をお勧めください ※アマチュア無線の資格の有無は問いません ○QSLカード転送受付の実施

2エリア

東海地方

地方本部

第60回東海QSOコンテスト

期間 3月20日(金/祝) 09:00~15:00(JST)

参加資格 日本国内の陸上で運用するアマチュア局・SWL

使用周波数帯 3.5MHz帯以上(3.8MHz/10/18/24MHz帯を除く) ※JARLコンテスト周波数帯

部門 ○管内局部門 ○管外局部門

種目・コードナンバー

種目名称		コードナンバー	
		管内	管外
シングルOP	オールバンド	I-SA	X-SA
	オールバンド・ジュニア(OPの年齢は20歳以下)	I-SAJ	X-SAJ
	オールバンド・QRP(出力5W以下, 出力低減による参加を認める)	I-SAQ	X-SAQ
	HFバンド	I-SHF	X-SHF
	HFローバンド	I-SHL	X-SHL
	HFハイバンド	I-SHH	X-SHH
	50MHzバンド以上	I-SVU	X-SVU
	3.5MHzバンド	I-S35	X-S35
	7MHzバンド	I-S7	X-S7
	14MHzバンド	I-S14	X-S14
	21MHzバンド	I-S21	X-S21
	28MHzバンド	I-S28	X-S28
	50MHzバンド	I-S50	X-S50
	144MHzバンド	I-S144	X-S144
	430MHzバンド	I-S430	X-S430
	1200MHzバンド以上	I-SG	X-SG
電信	オールバンド	I-SCA	X-SCA
	HFバンド	I-SCHF	X-SCHF
	HFローバンド	I-SCHL	X-SCHL
	HFハイバンド	I-SCHH	X-SCHH
	50MHzバンド以上	I-SCVU	X-SCVU
電話	オールバンド(参加資格は4アマ局のみ)	I-SPA	X-SPA
	オールバンド・D-STAR(出力20W以下, モードはDVのみ)	I-SPDV	X-SPDV
マルチOP	144/430MHzバンド(出力20W以下, モードはFMのみ)	I-SPD	X-SPD
	オールバンド	I-MA	X-MA
	オールバンド・ジュニア(20歳以下のOPによる運用が全交信数の80%以上であること)	I-MAJ	X-MAJ
電信オールバンド		I-MCA	X-MCA
SWL電信電話オールバンド		I-SWL	X-SWL

交受信相手 ○管内局: 日本国内の陸上で運用する局

○管外局・SWL: 2エリア内の陸上で運用する局に限る

呼出 ○管内局「CQ TEST」「CQコンテスト」 ○管外局「CQ TKI TEST」「CQ東海コンテスト」

コンテストナンバー ○管内局: RS(T) + 市郡区ナンバー ○管外局: RS(T) + 都府県支庁ナンバー ※

名古屋市(2001), 静岡市(1801), 浜松市(1802)はコンテストナンバーとして使用することはできない

マルチブライヤー ○管内局:異なる2エリア内の市郡区の数, 2エリア外の都府県支庁数 ○管外局・SWL:異なる2エリア内の市郡区の数 ※名古屋市(2001), 静岡市(1801), 浜松市(1802)をマルチとして計上できない ※バンドが異なれば同一の市郡区・都府県支庁でもマルチ

得点 コンテストナンバーの交換が完全にされた交信(受信)を使用バンドにより次の得点 ○3.5~21MHz帯:1点 ○28MHz帯:2点 ○50~430MHz帯:1点 ○1200MHz帯:3点 ○2400MHz帯:5点 ○5600MHz帯:10点 ○10.1GHz帯以上:20点 ※同一局とは同一バンドにおいて電信・電話それぞれ1交信(受信)ずつ有効

総得点 ○シングルバンド:当該バンドで得た得点の和×当該バンドで得たマルチの和 ○オールバンド(1200MHz帯以上種目も含む):各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

禁止事項 ○クロスバンド, クロスモードによる交信 ○レピータ等による中継交信 ○シングルOP局の2波以上の電波の同時発射 ○マルチOP局の同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチOP局の複数地点からの運用 ○JARL主催コンテスト使用周波数帯からの逸脱

注意事項 ○電信電話部門の各種目には電話のみ, 電信のみの交受信でも参加可能 ○HFローバンド種目は, 3.5MHzバンド, 7MHzバンドを使用し, HFハイバンド種目は14MHzバンド, 21MHzバンド, 28MHzバンドを使用 ○オールバンド・D-STAR種目は, 28MHzバンド以上を使用し, DVモードで交信すること。交信はレピータを使用しないシンプレックス交信に限る。呼出周波数はFMモードのみを使用し, サブ周波数でFMモードからDVモードに移行して交信を成立させるとよい ○コンテスト中の運用場所の変更はコンテストナンバーの変わらない範囲で可(SWLは管内においては同一市郡区内, 管外においては同一都府県支庁内の移動可) ○シングルOPはコンテスト開催中, コンテストに関する諸作業(ログ記入, 重複交信, マルチのチェック, 設備操作など)を全て独力ですること。マイクコントロールなど第三者の助けを借りて運用した場合や, 同一周波数を複数の局で相互に譲り合いながら運用した場合はマルチOP ○鉛筆書きによるログ・サマリーは書類不備扱い ○その他はJARLコンテスト規約に準じる ○参加局は, コールサイン, 氏名等が結果発表の際に公表されることがあるのでその旨了承すること

失格事項 ○同一バンドにおいて重複する交受信局数がログに記載されている交受信局数の2%を超え, かつ得点としている場合 ○2種目以上に書類を提出した場合 ○審査の結果, 提出書類に明らかに虚偽の記載が認められる場合 ○この規約に定める事項に違反した場合

書類提出 ○JARL制定のログ・サマリー, または同形式のものを使用, サマリーを一番上にし, 左上をホチキスなどで留める(用紙はA4に限る。旧B5様式は使用できない) ○東海地方本部主催コンテストは, 当

分の間コンピュータ印字による手書きログの提出を認める ○マルチOP局は運用者の姓名(またはコールサイン)・無線従事者資格を意見欄に明記。記入しきれない場合はサマリー裏面または別用紙(他の書類と同サイズ)に記入 ○ジュニア種目への参加局はOP(マルチOPは全員)の年齢をサマリー意見欄に必ず記入 ○移動運用して参加した局は, 運用場所を市区町村名まで明記 ○電子メールで書類を提出する場合, JARL主催コンテストの電子ログと同形式とし, ログは運用バンドごとにまとめ, 添付書類ではなくメール本文に貼りつける(目視による審査をするため, ログシート部分ではできる限りバンド順に並べる)

締切 4月10日(金)当日消印有効

提出先 ○専用Webサイトから送る場合: <https://isotope.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/tokai-log.html> ※次のQRコードからもアクセスできます



※専用Webサイトから書類を提出すると, 簡易的なログチェックや即時受取通知も受けられます ○郵送: 〒470-0391 豊田北郵便局 私書箱20号 JA2RL 「東海QSOコンテスト」係(「コンテストログ在中」と朱書) ○電子メール: ※できるだけ専用Webサイトから送ることをお勧め tokai-log@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp

表彰 ○管内局・管内SWL:各種目ごとに各県1位局を各県の支部大会で表彰 ○シングルOP電話, 電信電話, シングルOP電信, マルチOPにおける各県の最高得点局には併せて中日新聞社賞を贈る ○管外局・管外SWL:参加局数に応じ, 1~3位を表彰 ※表彰対象はJARL会員に限る ○登録クラブ対抗(クラブごとに集計した合計得点で競う):2エリア内のJARL登録クラブの構成員(SWLを除く管内シングルOP局ならびにマルチOP局1局)から申告された総得点をクラブごとに集計, それぞれ各県1位の登録クラブを表彰。サマリーの登録クラブ対抗欄にクラブ番号・クラブ名称を必ず明記 ※明記のない場合は構成員であっても集計対象外

参加証 ○サマリーシートなどを提出する際, 返信用封筒(住所, 氏名, 呼出符号(局を開設している方), 郵便番号を明記し, 84円切手を貼った120mm×235mmの定型封筒)を同封したアマチュア局(SWL)には, 参加証を発行 ○電子メールで書類を提出した場合は別途封筒を送付

問合せ 提出先までSASE, またはEメール(tkitst@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp)・HP(<http://isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/>)で

注意 岐阜県中津川市に越県編入合併された旧長野県(木曾郡)山口村を常(設)置場所とする0エリアのコールサインで運用する局も「東海地方本部管内(岐阜県中津川市)」とみなす ○本コンテストは参加種目が「シングルOP/マルチOP」の区分となっているので, JARL本部主催コンテストと同様, 提出する書類は各種目のうちいずれか1種目のみに提出できる。1人の運用者が2以上の局で参加したときは, そのいずれか1局の書類提出に限る。東海地方本部主催コンテストは, 参加証送付用封筒の同封等を考慮し, 引続き紙ログの提出も継続

後援 中日新聞社

賞状送付について 東海QSOコンテストにおける東海4県内入賞者の表彰式は、各県の支部大会でおこないます。近年、この表彰式に会場いただけなかった受賞者への賞状等郵送費用が大きくなり、コンテストの開催そのものを圧迫しています。東海地方本部では、第56回以降の東海QSOコンテストの表彰について、会場いただけなかった受賞者への賞状等の送付をおこなわないことになりました。賞状等の送付を希望する方は、下記の手続きをした場合にのみ賞状等を送付。送付を希望する方は、下記内容を記載したメモと所定の金額分の切手(140円)を送付 ※各県支部から入賞者へ連絡される式典出席通知へ返信・同封しても対応されません。必ず下記宛先まで送付

メモに記載する内容 ○コンテスト名：第60回東海QSOコンテスト ○表彰支部大会：静岡・岐阜・愛知・三重(いずれかに○印) ○コールサイン ○氏名 ※送付先を変更するときのみ、郵便番号、新住所[メモと140円切手の送付先] 〒470-0391 豊田北郵便局私書箱20号 JARL東海地方本部コンテスト委員会賞状送付係 ○一度申込んだ依頼を取り消す等、変更のある場合：tkitst@isotope.sist.chukyo-u.ac.jp へ連絡 ○手続きの締切は、毎年11月末日とし、送付は東海4県すべての支部大会終了後(12月頃) ※愛・地球博記念コンテスト、東海マラソンコンテスト、D-STARコンテスト、東海QSOコンテスト(管外局のみ)については、支部大会表彰をしませんので、東海地方本部から賞状等を受賞者全員に発送

静岡県

静岡県支部東部合同ミーティング 「東静アマチュア無線フェア」

※入場無料。今回は1月開催に変更しました

日時 1月26日(日) 10:30~15:30

場所 裾野市市民文化センター(多目的ホール) 〒410-1117 静岡県裾野市石脇586番地 ☎055-993-9300 ○東名高速裾野ICから車で10分 ○JR御殿場線裾野駅、岩波駅から路線バスで市民文化センター前バス停下車 ○駐車場：裾野市市民文化センター大駐車場

内容(予定) ○講演 ○監査指導委員会・コンテスト委員会の展示 ○静岡支部と語る ○東部地域非常通信訓練の活動展示 ○クラブの展示 ○SSTVのデモ ○パケット通信デモ ○ジャンク市、フリーマーケット ※出店募集：事前連絡をください ○東部地域アマチュア無線機販売店展示販売 ○主要メーカー機器展示販売 ○抽選会など

問合せ ○〒410-1101 静岡県裾野市岩波129-86 荻野哲 ☎055-997-3067 (19:00~22:00) ○Eメール jh2hon@jarl.com

後援 総務省東海総合通信局 裾野市

静岡県西部ハムの祭典

日時 2月16日(日) 9:40受付開始・10:00より式典

場所 浜松卸商センター「アルラ」2階大ホール、中ホール 浜松市南区卸本町37番地

内容 ○各クラブ・メーカー展示 ○販売店・ジャン

ク店など即売 ○無線機器などのフリーマーケット ○「支部と語る」 ○不法無線局探索車展示(DEURAS-M) ○DXCCフィールドチェック ○JA2RL公開運用 ○JARL入会受付 ○QSLカード転送受付 ○豪華景品、大抽選会

アクセス ○路線バスはありません。JR浜松駅よりタクシーなどご利用ください ○浜松ICより国道1号線豊橋方面へ 中田島交差点から、2つ目の信号を右折。交差点付近に大きな「卸」の看板あり

その他 ○浜松駅周辺は「浜松シティマラソン」開催による交通規制があります。注意ください ○駐車場は少くなく、限りがあります。なるべく乗り合いでお越しください ○会場前の道路には駐車しないでください ○JA2RLの運用を希望される方は従事者免許証、JARL会員証を持参 ○FCC無線の試験がおこなわれます詳細は<http://nh0aa.us/vec.html>参照 ○フリーマーケットに参加する予定の方は、氏名、コールサイン、連絡先を明記のうえ、JK2VQR@jarl.comまで ○最新の情報は支部HPに掲載

支援 静岡県西部アマチュア無線連絡協議会

後援 総務省東海総合通信局

令和2・3年度コンテスト委員募集

支部では、令和2、3年度のコンテスト委員を下記の要領で募集します

応募資格 次の条件を満たす人 ①静岡県内に在住のJARL会員であること ②支部コンテストに賛同し、年2回程度の会合に参加できること ③インターネット(Eメール、web)環境にあること

募集人数 若干名

任期 2年間

応募方法 略歴(氏名、年齢、住所、コールサイン、資格、コンテスト参加歴など)と応募動機を記入し(様式自由)Eメールにて提出。件名には、「コンテスト委員応募」と明記

提出先・問合せ JA2JNA 岡本吉史 Eメール ja2jna@jarl.com

締切 2月1日(土)

その他 支部長の審査・任命を経て、4月より活動していただきます

Report 「令和元年JARL静岡県支部大会・ハムの集い」終わる



2019年9月8日(日)、藤枝市「生涯学習センター」において開催。台風の影響も少なく盛況のうちに終了しました。また来年お逢いしましょう。詳細は支部HPをご覧ください(URL：<http://www.jarl.com/sizuokaken/>)

愛知県

第一級～第四級国試「無線工学」大質問会＋アマチュア無線なんでも相談会



これまでアマチュア無線技士の国家試験を受験するための対策勉強会を開催していましたが、今回はCWや新しいモードなどの運用方法など、アマチュア無線に関する相談もあわせてお受けします。ぜひご参加ください ※都合により変更することがあります

日時 2月11日(火/祝) 13:00～16:00

場所 東別院会館 1階104教室 〒460-0016 名古屋市
中区橋2-8-45 名古屋市営地下鉄名城線東別院駅下車、4番出口から西へ徒歩3分

内容 ○13:00～愛知県支部から講演：支部長 7L1FFN/2磯から、JARLのこと、東海ハムの祭典のこと、支部の活動等について講演・説明します ○14:00頃～第一級～第四級国試「無線工学」大質問会＋アマチュア無線なんでも相談会：国家試験を受験または勉強している人を対象として、各級アマチュア無線技士無線工学の問題について、質問を受け、解説します。わからない問題や、複雑な計算を要する問題等をお持ちください。スタッフが親切丁寧に解説します。

また、CWや新しいモードなどの運用方法や免許の再開方法など、アマチュア無線に関することについて何でも相談に応じます ※当日回答ができないご相談については持ち帰って、後日回答することがあります

参加費 無料

持ち物 筆記用具とCQ出版社「第1級ハム国家試験問題集」などに掲載されている問題(国試対策の方)等を持参

申込先 愛知県支部イベント申込Webサイト <http://www.jarl.com/aichi/>

申込締切 2月2日(日)まで

三重県

技術講習会

日時 2月2日(日) 13:00～

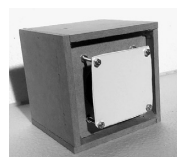
場所 津市雲出地区防災コミュニティセンター 三重県
津市雲出伊倉津町792-1

内容 通信用スピーカーの製作 ※皆さんに楽しんで製作していただけるように企画

※参加費等詳細は、後日支部HP (<http://jarl-mie.com/>)

に記載。皆さんのご参加をお待ちしています

参考・製作例



3エリア

関西地方

地方本部

Report フィールドミーティング開催



2019年10月20日(日)に、大阪市舞洲において地方本部主催のフィールドミーティングを開催しました。

このところ荒天続きでしたが、この日は晴天の秋晴れのもとJR3QHQ田中本部長の開会宣言を合図に、各種ゲームや記念局運用などで楽しい一日を過ごしました。

京都府

第64回京都コンテスト

非常時に備えての府内、その周辺の電波伝搬の調査研究、通信技術の向上、アマチュア無線界の友好増進などを目的とし、JARL京都非常通信協議会の通信訓練を兼ねて実施します

日時 2月1日(土) 20:00～2月2日(日) 16:00 ※バンドごとに開催時間が異なる [2月1日] 20:00～22:00 3.5MHz帯 [2月2日] ○22:00～24:00 1.9MHz帯 ○8:00～9:00 14/144MHz帯 ○9:00～10:00 21/144MHz帯 ○10:00～11:00 28/50MHz帯 ○11:00～12:00 50/1200/2400/5600MHz帯 ○13:00～14:00 7/430MHz帯 ○14:00～16:00 7MHz帯

参加資格 日本国内の全てのアマチュア局・SWL局

使用周波数帯・モード 上記のアマチュアバンドにおけるCW/SSB/FM/AMモード ※3.5～430MHz帯はJARL主催のコンテストの使用周波数帯による

交信(受信)の相手局 ○京都府内の局：日本国内で運用する全てのアマチュア局 ○京都府外の局：京都府内で運用する全てのアマチュア局 ○SWL：京都府内で運用する全てのアマチュア局

参加部門(カテゴリコード)(別表)

注1) マルチA：4バンド以上のシングルオペマルチバンド 注2) マルチB：3バンド以下のシングルオペマルチバンド 注3) マルチC：V, U, SHF帯のシングルオペマルチバンド

呼出 [電話] ○府内局「CQ京都コンテスト こちらはJA3○×△です。どうぞ。」 ○府外局「CQ京都コン

(別表) 参加部門 (カテゴリコード)

部門	カテゴリコード		
	府内局	府外局	
シングルオペ	マルチA	IA	OA
	マルチB	IB	OB
	マルチC	IC	OC
	1.9MHz	I19	O19
	3.5MHz	I35	O35
	7MHz	I7	O7
	14MHz	I14	O14
	21MHz	I21	O21
	28MHz	I28	O28
	50MHz	I50	O50
	144MHz	I144	O144
	430MHz	I430	O430
	1200MHz	I1200	O1200
	2400MHz	I2400	O2400
5600MHz	I5600	O5600	
マルチオペ	マルチ	IM	OM
SWL	マルチ	ISWL	OSWL

テスト こちらは府外局 JA3〇×△です。どうぞ。]
[電信]〇府内局「CQ TEST DE JA3〇×△ K」 〇
府外局「CQ KT TEST DE JA3〇×△ K」

コンテストナンバー 〇京都府内局 電信、電話：RS (T) + 市区郡符号 + 下記の2または3桁の英数字 ・JARL 京都非常通信協議会の登録者は、3桁の数字 (601～799) によるボランティア番号 ・JARL 登録クラブの社团局は、3桁の登録ナンバー ・上記以外の局は運用者名のイニシャル2文字 例) 59 (9) W10603 (京都市山科区 (W10) からJARL 京都非常通信協議会のボランティア番号603の局がQRVした場合) 例) 59 (9) W07102 (京都市南区 (W07) から登録ナンバー22-1-2のクラブ局がQRVした場合) 例) 59 (9) W04TK (京都市中京区 (W04) から京都太郎 (TK) さんがQRVした場合) 注) マルチオペ部門でJARL 京都非常通信協議会の登録者が運用する場合は、イニシャルあるいは登録クラブ番号に代えて、運用者のボランティア番号を送出することができる 〇京都府外

局 電信、電話：RS (T) + 都府県・地域等略号 + 運用者名のイニシャル2文字 例) 59 (9) OSTO (大阪府 (OS) から大阪太郎 (TO) さんがQRVした場合

交信上の禁止事項 〇クロスバンドによる交信 〇同一部門におけるコンテスト中の運用場所の変更 〇シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 〇マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 〇マルチオペの複数地点からの運用 〇レピータ等による交信

得点 〇京都府内局：相手局が京都府内局は2点、府外局は1点 〇京都府外局、SWL：相手局が京都府内局は1点、府外局は0点、

マルチブライヤー 〇第一マルチ：各バンドで得た異なる京都府内の市区郡、都府県・地域等 (京都府内局のみ) 〇第二マルチ：各バンドで得た異なるJARL 京都非常通信協議会のボランティア番号、府内登録クラブの登録番号 ※第一マルチと第二マルチの合計をマルチブライヤーとする ※非常通信協議会登録局や登録クラブとの交信によって1交信で同時に複数のマルチブライヤーが発生する可能性がある 例) 「W10」が未交信で、「W10603」のコンテストナンバーを交信相手からもらった場合、この1交信で「W10」と「603」で2マルチを獲得したことになる 注) 当コンテストではJARL 京都非常通信協議会の周知、啓発のためボランティア番号をマルチブライヤーに設定

ニューカマーマルチブライヤー 〇係数 (×2.5)：2019年2月4日 (第63回コンテスト開催日の翌日) 以降に初めて局を開設したシングルオペ 〇係数 (×1.5)：2018年2月5日 (第62回コンテスト開催日の翌日) 以降に初めて局を開設したシングルオペ 〇係数 (×1.2)：2017年2月6日 (第61回コンテスト開催日の翌日) 以降に初めて局を開設したシングルオペ 〇係数 (×1)：上記以外

総得点 〇マルチバンド：各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和×ニューカマーマルチブライヤー係数 〇シングルバンド：当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチブライ

関西ハムシンポ2020

兵庫県支部と大阪府支部の共催で、次のとおり開催します

日時 2月9日 (日) 09：30～15：00 搬入予定08：00～

会場 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター (エーリック) 兵庫県尼崎市道意町7丁目1番3 ※付近に有料駐車場あり

内容 (予定) 〇JARL 入会・更新・QSL カード転送受付 〇ジャンク市：出展無料 ※希望者は事前申込 〇モールス通信入門 〇初心者への衛星通信入門 〇メーカ講演 〇FT8 モードで交信 〇メーカの製品展示 〇新春パーティー (会費：3,000円 高校生以下500円・ゲスト未定) 抽選会予定 〇シンポジウム 〇JARL による「スプリアス確認保証と模擬測定」(仮称) の講演 〇ARRL VE 神戸による FCC 試験 〇

DXCC フィールドチェック (有料) ※各イベントは先着順とし、参加費は一部を除いて無料 ※予定の内容は事情で変更になることがあります

ジャンク市 (出展無料) 事前申込が必要、下記項目をEメールで下記まで 〇件名：「関西ハムシンポ2020」 〇出展者 (団体) 名と出展内容 〇出展者のコールサインと連絡先住所、氏名、電話番号、Eメールアドレス 〇申込先Eメール：jh5jkh@jarl.com とjh5jkh27@gmail.com ※ミスをなくすため上記2か所に申込みください 〇締切：1月18日 (土)、先着順とし満席になりしだい締切

その他 〇抽選会等の賞品受取りにはJARL 会費の領収書を提示 〇ジャンク市出展者名と内容は当日配布の冊子に紹介予定 〇詳細は決定次第随時、兵庫県支部・大阪府支部HPにて案内 〇注意：屋上、玄関などの外にアンテナ建設は禁止です

ヤーの和×ニューカマーマルチブライヤー係数 ※総得点の小数点以下の端数は切り上げ

書類の提出 ○電子ログを推奨 ○郵送で提出する場合には、JARL制定または同様のログシート、サマリーシートを用いサイズはA4またはB5に限る ○ゲストオペレーター運用時は実運用者名でサマリーを提出 ○電子ログは、JARLコンテスト委員会制定の形式(詳細は京都府支部Web <http://www.jarl.com/kyoto/contest/KT/emailent.htm>参照) ○①シングルバンド部門は2部門まで提出ができる。なお、運用者が同一の場合、コールサインが異なっても同一局とみなす ※シングルバンド部門とマルチバンド部門の重複提出は認めない ○マルチオベマルチバンド部門に参加したオペレーターは、他のカテゴリへのログ提出はできない ※マルチバンド部門は1部門のみ提出できる ○電子ログの場合、訂正等で複数のログ提出があった場合は参加部門ごとの最新のログを有効なログとする。参加部門変更等により前述の提出可能なログ数を超えた場合は、サマリーシートの意見欄に有効とするログがわかるように明記(最初にマルチバンドC部門に提出し、その後、シングルバンド144MHz部門と430MHz部門に変更した場合は、シングルバンド部門とマルチバンド部門の重複提出になる場合があるため) ○紙ログは、提出部門ごとにサマリーとログを綴じ、書類を明確に分離して提出、電子ログは、1電子メールに1部門の提出 ○チェックログは参加部門のログシートと明確に分けて提出し、サマリーシートの意見欄にチェックログである旨を明記。やむなく参加部門のログに混在させて提出する場合は、該当部分の得点を0とし、マルチブライヤー欄を空欄として提出。またサマリーシートの意見欄にこのログの7MHzQSO分はチェックログです等、どの部分がチェックログかを明記。電子ログは、件名をCALLSIGN:CLとし、提出先アドレスに送付 ○同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信)は、電波型式が異なる場合も0点 ○サマリーシートとログシートの内容は一致していること ○入賞対象局については、交信時に記入したログの提出を求めることがある ○同得点の場合は、最終QSO時刻が早い局を上位 ○マルチオベ部門にログを提出する場合は、意見欄にオペレーターのコールサイン(または氏名)、資格を明記 ○ニューカマーマルチブライヤーにて係数(×2.5~1.2)を算入した局については、局免許年月日をサマリーシートの意見欄に明記。後日、確認のため、無線局免許状等の提出を求めることがある。コンテスト結果にはニューカマーであることが明記される

提出締切 2月29日(土)消印有効 電子メールはサーバ受信時のタイムスタンプにて判断

提出先 ○郵送：〒617-8691 京都向日町郵便局私書箱21号 JARL京都クラブコンテスト係 ○Eメール kt-test@ja3yaq.ampr.org

賞 ○上位局には京都府知事賞などの賞 ○複数部門にエントリーしたものはエントリーごとに取り扱う

失格事項 ○電波法またはこれに基づく命令に違反した場合 ○本コンテスト規約に違反した場合 ○虚偽の内容報告がある場合 ○提出書類などが不備な場合 ○その他、本コンテスト委員会が失格と判断した場合

結果発表 ○JARL京都クラブNews, JARL NEWS, JARL京都府支部のWeb等に発表 ○電子メールにて書類提出の局には電子メールにて個別に結果を送付。結果の郵送を希望する局は、84円切手を貼った長形3号(120×235)サイズの返信用封筒を同封

コンテストレビュー ○提出されたログ、サマリー情報をもとに参加者の状況を分析し、意見・コメントとともに結果をJARL 京都クラブNews, JARL京都府支部のWeb等に発表(昨年度の実績は30ページ) ○コンテスト結果に加えてコンテストレビューを郵送で希望する局は、意見欄に「コンテストレビュー送付希望」と記載のうえ、84円切手5枚(送付代、印刷代)と角形2号(240×332)サイズの封筒(切手は貼らないでください)を同封 ○電子メールにて書類提出の局には電子メールで個別に結果を送付。コンテストレビューにコメント内容の掲載を希望しない場合は、サマリーの意見欄を空白にするか、希望しない旨を明記

参加証 参加証を希望する場合は、84円切手を貼った洋形2号(114×162)サイズの封筒を同封。結果、コンテストレビューの郵送を希望した局にはあわせて参加証を郵送 ※封筒は不要

後援、協賛 京都府、京都市、京都新聞、その他 JARL京都非常通信協議会について JARL京都非常通信協議会については支部HP参照(<http://www.jarl.com/kyoto/oso/kyoutei/kyoutei1.htm>)

その他 ○不明な点についての問合せは必ずSASEまたは、電子メール(問合せ専用アドレス: kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)で ※電話での問合せには絶対対応しない ○規約・結果・電子ログ提出方法などは支部HPでも見ることができる。コンテスト結果に対する異議の申立、再審査、裁定については支部のコンテスト規程参照 ○特別に明記されていない事項は京都コンテスト委員会において審議のうえ取扱いを決定します(<http://www.jarl.com/kyoto/contest/kt-test.htm>)

【京都府内の市区郡符号】 福知山市C02 舞鶴市C03 綾部市C04 宇治市C05 宮津市C06 亀岡市C07 城陽市C08 長岡京市C09 向日市C10 八幡市C11 京田辺市C12 京丹後市C13 南丹市C14 木津川市C15 乙訓郡G03 久世郡G06 相楽郡G08 綴喜郡G10 船井郡G12 与謝郡G14 北区W01 上京区W02 左京区W03 中京区W04 東山区W05 下京区W06 南区W07 右京区W08 伏見区W09 山科区W10 西京区W11

【京都府外の都府県・地域等略号】 宗谷SY 留萌RM 上川KK オホーツクOH 空知SC 石狩IS 根室NM 後志SB 十勝TC 釧路KR 日高HD 胆振IR 檜山HY 渡島OM 青森AM 岩手IT 秋田AT 山形YM 宮城MG 福島FS 新潟NI 長野NN 東京TK 神奈川KN 千葉CB 埼玉ST 茨城IB 栃木TG 群馬GM 山梨YN 静岡SO 岐阜GF 愛知AC 三重ME 滋賀SI 奈良NR 大阪OS 和歌山WK 兵庫HG 富山TY 福井FI 石川IK 岡山OY 鳥根SN 山口YG 鳥取TT 広島HS 香川KA 徳島TS 愛媛EH 高知KC 福岡FO 佐賀SG 長崎NS 熊本KM 大分OT 宮崎MZ 鹿児島KG 沖縄ON 小笠原OG

第34回初級CW QSO教室

日時 2月11日(火/祝) 9:30~16:30まで
会場 八幡市文化センター 〒614-8037 京都府八幡市
八幡高畑5番地3 ☎075-971-2111
交通 ○京阪電車八幡市駅、樟葉駅、近鉄電車新田辺
駅より、京阪バスを利用。八幡市役所前または八幡小
学校前バス停下車すぐ ○駐車場あり 詳細は、HP
(アクセス交通)参照<http://www.yawata-bunka.jp/center/index.htm>
対象 「CWのライセンスは持っているがQSOの方法が
分からない」「ラバースタンプQSOの略符号の意味が
分からない」「電波を出したくても自信がない」等、お
思いの局はぜひ参加ください ※他府県の局も大歓迎。
CWは、QRPでも国内は言うにおよばず、地球上
のいたるところに電波は届きます。そのうえ、言葉の
障害もありません。これが、モース符号が世界共通
語とも呼ばれるゆえんです
内容 ○講義:ラバースタンプQSOの略符号、Q符号
の説明、ラバースタンプQSOのひな型と、その内容
の説明 ○実技:発振器で音を出しての模擬交信(発
振器は準備していますが、使い慣れた発振器をお持ち
の局は持参)。相手はKCWAのスタッフ ○他:電鍵
の操作方法説明、CW会得体験談等
持参品 筆記用具、マイ電鍵(電鍵のない局は、数台準
備しています)
費用 無料 ※テキストは(<http://www.jarl.com/kcwa/>)
よりダウンロード可
申込方法 2月5日(水)までにハガキまたはEメールに
て「初級」と明記、住所、氏名、コールサイン、現有
資格、電話番号を記入
申込先 ○〒607-8492 京都市山科区日ノ岡夷谷町17-80
京都CW愛好会 JA3DLM 岡田昌昭 ☎080-2249-
0599 ○Eメール ja3d1m@jarl.com ※申込者への返
信はしません
問合せ KCWAのHP内掲示板に書き込んでいただけれ
ば回答します <http://www.jarl.com/kcwa/>
共催 関西HAMセミナー、JARL京都府支部、京都CW
愛好会

滋賀県

Report 「2019滋賀県支部HAMのつどい」開催



2019年11月10日(日)に長浜市立湖北文化ホールで開
催。滋賀県の北端で人出を心配しましたが、県外からの
参加もあり、96名が参加。会場内では、メーカー展示、
HAMショップの出店、恒例のジャンク市やお楽しみ抽選
会、併せてJARL入会キャンペーンコーナーも開設。午

後の技術講演会では、アイコムからD-STARの説明や非
常通信での活用について、お話をいただきました。

奈良県

CW実技講習会

県内外局を問いませんので、多数のみなさまの参加を
お待ちしております
日時 1月19日(日) 13:00~17:00
会場 いかるがホール2F 研修室1 奈良県生駒郡斑鳩
町興留10丁目6番43号 ☎0745-75-7743 URL <http://www.town.ikaruga.nara.jp/ikaho/>
集合 1階ロビーで、12:30から受付
協賛クラブ NDXA、奈良DXアンソーション
対象者 ○CWの資格はあるが実践体験の少ない方 ○
DX(海外局)とCWでQSOしたいが自信のない方
講習内容 ○支部では毎年1月にCW講習会を開催 ○
協賛クラブNDXA講師はCW愛好者の集まりで経験
豊富なメンバーが貴局のCW上達のお手伝いをします
○個人のレベルに合わせたマンツーマン方式で実技練
習をしますので初心者の方でも気軽に参加ください
○模擬コンテストやパイルアップの受信訓練など実戦
で役に立つ練習も実施予定
注意事項 クラス別の講習をしますので申込みの際に貴
局のCWレベルを下記のA~Dいずれかを記入 ○A:
今までにCW QSOの経験がある(25文字/分以上)
○B: CWの受信、送信ができる程度(25文字/分以上)
○C: CWの受信、送信いずれか自信がない ○D:
CWの資格はあるが運用経験がない
申込み方法 住所、氏名、コールサイン、ライセンス、
CWレベルを記入、Eメールまたは、往復ハガキで申
込み 〒631-0832 奈良市西大寺新田町7-30 梅田浩
二 JE3AGN je3agn@jarl.com
定員 18名 ※定員になり次第締切
参加費 無料
持参物 ○各自のエレキパドルまたは、電鍵を持参
○ヘッドホン(ミニジャック ステレオ3.5Φ) ○筆
記用具は各自用意
会場案内地図は支部HP (<http://www.jarl.com/nara/>)
参照

奈良県支部大会・HAMの集い

多数の皆さまの参加をお待ちします

日時 3月15日(日) 10:00~16:00 ○受付09:30~
○開会10:00 ※事前申込みは不要。当日、直接会
場へおこしください
場所 葛城市歴史博物館「あかねホール」 葛城市忍海
250-1 ☎0745-64-1414 ○近鉄御所線忍海下車、西
へ徒歩1分 ○奈良交通バス忍海または忍海駅下車、
西へ徒歩1分 ○国道24号線忍海または忍海北交差
点西へ100m ※無料駐車場あり
支部大会内容 ○支部長・来賓挨拶 ○令和元年度奈良
県支部業務報告 ○令和元年度奈良県支部会計報告
○令和2年度奈良県支部事業計画 ○令和2年度奈良
県支部予算案 ○監査指導報告 ○意見交換会 ○ク
ラブ紹介 ○社員紹介 ○記念撮影 ○ハンド付けコ
ンテスト ○講演会:関西地方本部長JR3QHJ田中透

氏 ○奈良V・UHF コンテスト電子ログ提出支援システム紹介 ○各種表彰(コンテスト等) ○自作機器発表会 ○QSLカードコンテスト ○JA3RL/3またはJA3YRL/3公開運用(予定) ○各種展示 ○その他

第47回QSLカードコンテスト 会場内、QSLカードコンテストをおこないます ○自局のカード1枚を持参 ※過去に入選したQSLカードは除く。過去の入賞QSLカードは支部HPに掲載 ○午前中に受け付けまたは担当者に提出 ※入賞されたカードはお返ししません ○審査は以下の5部門 ・すばらしいカードで賞 ・良いデザインで賞 ・良いアイデアで賞 ・アマチュアらしいで賞 ・良く判るで賞

<第48回自作機器発表会> 会場内、自作機器発表会をおこないます ○日頃の製作品やアイデア作品を持参 ○作品には展示用の簡単な説明書(作品名・作品の特徴・製作者名等)を用意

その他 ○JARL会員証を持参 ○QSL転送サービスをおこないます ※必ずプリフィックス順に整理して持参。転送できるQSLカードは、QSL転送サービス利用方法(JARL経由でQSLカードを送るには)参照 ○奈良V・UHFコンテストの入賞者で区分:県内局の県内会員の方は、出席して賞を受取ってください ※代理人可 ○JA3RL/3またはJA3YRL/3の公開運用を予定。運用を希望者は、JARL会員証と無線従事者免許証を持参

※支部大会の詳細や案内地図は支部HP (<http://www.jarl.com/nara/>)に掲載

Report 「フィールドミーティング」終わる



2019年9月15日(日)に支部主催「フィールドミーティング」を(株)池利商店(三輪素麺)駐車場で開催しました。好天に恵まれ、秋晴れのすがすがしい気候の中での開催となりました。

県内はもとより、県外からの参加者も多数あり、150名ほどの方々に足を運んでいただきました。会場では、技術談や久しぶりの知人らとの語らいなど、和やかにアイボールQSOを楽しまれていました。

ジャンク市では、常連の出店者に加えて、県内外の方の出店もありました。アマチュア無線機、アンテナ類、格安パーツ、中古家電、白紙QSLカード、家庭用品などが出品されていました。

出展者の皆さんは販売より情報交換などを積極的におこなっておりました。この自由な雰囲気ジャンク市には、来年も必ず参加しますとの嬉しい言葉をいただいています。「山の辺の道」ウォーキングも毎年楽しみにされており、約3時間の散策とアイボールQSOを楽しまれました。

QSLカードの転送サービスにも、多くのQSLが持参されていました。無線もジャンクも関心のある方々の集まりであったようです。

Report 「製作技術講習会」終わる



支部では、2019年10月27日(日)に、製作技術講習会を生駒市の「南コミュニティセンターせせらぎ」で開催しました。

製作内容は、「低電力デジタルパワー計」の製作講習をおこないました。

定員を超える9名の参加者(県内2名・県外7名)があり、支部間の垣根のない講習会となりました。

みなさま、お疲れさまでした。

和歌山県

支部大会・ハムの集い

場所 印南町公民館 日高郡印南町大字印南2009番地1 ☎0738-42-1700

日時 2月16日(日) 11:00~16:30

内容(予定) [11:00~]ハムの集い・アイボールミーティング等 [13:00~16:30]○支部報告 ○前年度行事報告・同決算報告 ○本年度中間報告 ○来年度行事計画・同予算説明 ○監査指導委員長現状報告 ○和歌山コンテスト報告 ○和歌山アワード発行状況報告 ○非常通信訓練結果報告 ○意見交換
その他 ○JARL会員証を持参ください、お楽しみ抽選カード・記念品を渡します ○QSLカード転送:カードはプリフィックス順に輪ゴム等で止め包装紙等は必ず当日持参

※変更等については順次支部HPに掲載
問合せ JF3NIM 田中将夫 〒642-0001 海南市船尾237 [tel/fax] 073-482-3202 Eメール jf3nim@jarl.com 携帯090-3616-9363

第32回和歌山コンテスト

日時 4月5日(日) 09:00~21:00JST

参加資格 日本国内のアマチュア無線局, SWL

部門 ○N:和歌山県内の部 ○G:和歌山県外の部 ○S:SWLの部

種目・コード・使用バンド(別表)

周波数区分 JARL主催コンテスト使用周波数帯を適用
※1.9, 1200MHzはアマチュアバンド[®]使用区分を準用

呼出 [県内局]○電信「CQ WK TEST IN DE J*3*

(別表) 種目・コード・使用バンド

		和歌山県内			和歌山県外		
		電信	電信 電話	電話	電信	電信 電話	電話
シングルオペ	1.9MHz シングルバンド	NC1.9	—	—	GC1.9	—	—
	3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	—	GC3.5	GX3.5	—
	7MHz シングルバンド	NC7	NX7	NP7	GC7	GX7	GP7
	14MHz シングルバンド	NC14	NX14	—	GC14	GX14	—
	21MHz シングルバンド	NC21	NX21	—	GC21	GX21	—
	28MHz シングルバンド	NC28	NX28	—	GC28	GX28	—
	HF (1.9~28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	NPHF	GCHF	GXHF	GPHF
	50MHz シングルバンド	NC50	NX50	—	GC50	GX50	—
	144MHz シングルバンド	NC144	NX144	—	GC144	GX144	—
	430MHz シングルバンド	NC430	NX430	—	GC430	GX430	—
	1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	—	GC1200	GX1200	—
	V・U(50~1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	—	GCVU	GXVU	—
マルチオペ	マルチバンド 電信・電話	—	NXMA	—	—	GXMA	—
SWL	マルチバンド 電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)					

「**」 ○電話「CQ 和歌山コンテスト こちらは県内局 J*3***」 [県外局] ○電信「CQ WK TEST DE J*7***」 ○電話「CQ 和歌山コンテスト こちらは県外局 J*7***」

交信の相手局 ○県内局：国内全域 ○県外局：和歌山県内局のみ

コンテストナンバー ○県内局 RS(T) + 市郡ナンバー
○県外局：RS(T) + 都府県支庁ナンバー

得点 ○1交信を1点 ○SWLは和歌山県内のみを1点
※同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない

マルチブライザー ○県内局：各バンドごとに都府県支庁(和歌山県を除く)、和歌山県内の市郡を1マルチ
○県外局：各バンドごとに和歌山県内の市郡を1マルチ

総得点 得点合計×マルチ合計

提出書類 JARLコンテスト用サマリーシート、ログシート、またはそれと同一と見なし得る書式

締切 4月30日(木)消印有効

提出先 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部コンテスト 係 Eメール wk-test@jarl.com

問合せ 提出先と同じ

結果・表彰 ○結果は支部HPで発表。インターネット接続環境にない方はSASEをお勧め ○表彰は、各部門・種目別にエントリー数が5局以内は1位のみ、6~10局は2位まで、11局以上は3位まで ※JARL会員

に限る ○希望の方は、氏名・コールサイン・種目・順位、送付先住所と郵便番号(賞状紙ベースの方)メールアドレス(pdfの方)、を連絡 ※確認後、送付。希望の受付は結果発表後1カ月、申込み先はログ提出先と同じ

禁止・その他 ○JARLコンテスト規約に準じる ○エントリー：シングルオペは2種目以内 ※HF帯(1.9~28MHz)とV・UHF帯(50~1200MHz)で各1種目 マルチオペ：1種目 SWL：1種目 ※同一個人が、2以上のコールサイン(SWLナンバー含む)を使用してのログ提出は認めない ○和歌山県内登録クラブ対抗：サマリーの登録クラブ欄に登録クラブ番号とクラブの名称を記入 ○コンテスト結果が必要な方は、長形3号の封筒に94円切手を貼ったSASEを同封 ○移動局に対して、移動した事実を証明できるもの(宿泊先の領収書、当該地域での買い物の領収書、移動地で撮影した日付入の写真など)の提出を求める場合がある。また、サマリーシートへの移動先の記載は単に市郡名の記載ではなく、**市**山、山頂付近などの具体的地域の記載をお願いします ○副賞の「和歌山県特産品」はエントリー数、得点などにより、県内の部・県外の部ともに入賞10個以内と、特別賞1個程度の予定

電子ログで提出される場合のお願い ○電子ログサマリーはJARL Web記載の電子ログ作成ツールの旧バージョン(VERSION=R1.0)で提出 ※ウイルス対策上から添付ファイルは受け付けません ○件名欄は「WK-TEST + 貴方のコールサインまたは准員番号」、送信者名は「氏名」または「コールサイン」を正しく名乗ること(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しない。迷惑メールで削除されても責任は持ちません) ○メールで提出時、1種目1メールとし2種目を同一メールで送付しない ○再提出の場合、件名はコールサイン+「再提出」 ○問合せ：コールサイン+「問合せ」 ○ログ提出者は当HPで公表

コンテストにおいて交信した際のQSLカード交換について 過去に同一バンド・モードで交信し、既にQSLカードの交換を済ませている場合などは必要以外、交換・発行を控えるようにしましょう

Report テクニカル講座
「D-STARを活性化しよう」開催



2019年11月3日、和歌山東部コミュニティーセンターでJA3UAJ泊氏を講師に迎え最新のD-STAR事情等の情報を中心にお話をいただき沢山の皆さまが参加されました。